

平成 3 0 年度

八 匝 水 道 企 業 団 水 道 事 業 会 計 予 算

平成30年度八咫水道企業団水道事業会計予算

(総 則)

第1条 平成30年度八咫水道企業団水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給 水 戸 数	15,448	戸
(2) 年 間 総 給 水 量	4,100,000	m ³
(3) 一 日 平 均 給 水 量	11,233	m ³
(4) 一 日 最 大 給 水 量	12,773	m ³
(5) 主 要 な 建 設 工 事	865,711	千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収入

第1款 水道事業収益	1,479,276	千円
第1項 営業収益	932,654	千円
第2項 営業外収益	546,621	千円
第3項 特別利益	1	千円

支出

第1款 水道事業費用	1,246,656	千円
第1項 営業費用	1,238,449	千円
第2項 営業外費用	3,106	千円
第3項 特別損失	101	千円
第4項 予備費	5,000	千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額573,835千円は、過年度分損益勘定留保資金518,254千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額55,581千円で補てんするものとする。）。

収入

第1款 資 本 的 収 入	364,022	千円
第1項 補 助 金	128,509	千円
第2項 負 担 金	6,434	千円
第3項 給水申込納付金	29,079	千円
第4項 企 業 債	200,000	千円

支出

第1款 資 本 的 支 出	937,857	千円
第1項 建 設 改 良 費	878,476	千円
第2項 給 水 工 事 費	47,602	千円
第3項 企 業 債 償 還 金	10,778	千円
第4項 国庫補助金返還金	1	千円
第5項 予 備 費	1,000	千円

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額(千円)	起債の方法	利率	償還の方法
配水管更新事業	200,000	証書借入	3.0%以内	借入先の融資条件による。ただし企業財政その他の都合により繰上償還又は低利に借り換えることができる。

(一時借入金)

第6条 一時借入金の限度額は100,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第7条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合を、消費税及び地方消費税に不足が生じた場合における営業費用及び営業外費用の間と定める。

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第8条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費	125,154	千円
(2) 交際費	50	千円

(他会計からの補助金)

第9条 高料金対策のため組織市町一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、次のとおりである。

(1) 匝瑳市一般会計	143,523	千円
(2) 横芝光町一般会計	39,509	千円

(たな卸資産購入限度額)

第10条 たな卸資産の購入限度額は、2,492千円と定める。

(重要な資産の取得及び処分)

第11条 重要な資産の取得及び処分は、次のとおりとする。

1 取得する資産

種 類	名 称	数 量
建 物	八日市場調整池管理本館	一式
構 築 物	八日市場調整池及び調整池内連絡管	一式
構 築 物	光調整池及び光調整池内連絡管	一式
機械及び設備	八日市場調整池配水ポンプ設備	一式
機械及び設備	八日市場調整池薬品注入設備	一式
機械及び設備	八日市場調整池制御盤設備	一式
機械及び設備	光調整池次亜塩素注入設備	一式

平成30年1月25日提出

八匠水道企業団企業長 太田 安規